

資料 1

西東京市公民館運営審議会
令和3年度第7回定例会議

令和3年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和3年12月15日

NO	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	事業内容	主な講師等
1	芝久保	多世代交流講座 五感で楽しむアートセラピー	7月2日 7月9日 7月16日 金曜日 10時から12時 全3回	延べ25人	公民館を世代間交流の場として活用することを旨とし、同じ地域で暮らす多世代が交流する機会となった。	石川 健（臨床美術士）
2	芝久保	子ども体験講座 けん玉に挑戦	11月13日 土曜日 3回 ①10時から11時 ②13時から14時 ③15時から16時	延べ22人	<ul style="list-style-type: none"> ・けん玉の体験を通して子どもたちが学ぶ楽しさや面白さに気づくきっかけを作る機会になった。 ・触れ合う機会が少なくなってきた昔からの遊びを通して、公民館になじみのない小学生に公民館を知ってもらう機会になった。 	吉村 泰（けん玉道5段、認定ライセンス1級指導員）
3	ひばりが丘	子育て中の人のための講座(保育付き) 身近な人を大事にする ～「聴く」「認める」から始めよう～	6月21日から 10月27日 金曜日 10時から11時45分 全10回 ※保育説明会 6月21日	延べ63人	家族のことを中心に考えがちな受講者が自分を見つめ直し、自己認識を深めながら周囲の人との関係性を豊かにする目的でコーチングを学んだ。	石川りつ子(生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ、厚生労働省認定2級キャリア・コンサルティング技能士)

4	ひばりが丘	思春期の子どもに向き合うための講座 アドラー心理学から学ぶ 笑顔になる勇気づけの子育て	10月6日 10月13日 10月20日 水曜日 10時から12時 全3回	延べ54人	思春期特有の精神状態を理解した上で、アドラー心理学によるコミュニケーションの取り方を学び、子どもとの関係性を見直す機会となった。	辻川牧子（アドラーカウンセラー、ELM勇気づけトレーナー）
5	ひばりが丘	高齢者の課題を考える講座 コロナに負けない健康づくり2 ウォーキングとラジオ体操で気軽に運動習慣	10月20日 10月27日、 11月10日 水曜日 13時30分から15時30分 全3回	延べ52人	ウォーキングとラジオ体操など身近な運動の基礎を学び、公園を使って屋外で身体を動かす気持ちよさを体験できた。併せて運動効果や継続するコツについて学び、習慣化につなげることができた。	一般社団法人日本ウォーキング協会健康ウォーキング指導士 いこいの森体操会所属全国ラジオ体操連盟認定指導士
6	保谷駅前	【共催事業】 現代的課題を考える講座 ゆっくりと未来に向かおうパート3 ※つくしの会、西東京不登校を考える親の会IPPO、でこぼこ西東京との共催	10月10日から 10月31日 日曜日 第1回から第4回：10時から12時 第5回：13時から15時 全5回	延べ72人	大きな地域課題のひとつである不登校の問題を、不登校の子どもを持つ親と共に考える。我が子の不登校をマイナス面からだけ捉えるのではなく、困難を抱えることはより深く人生を考える事や今の社会や学校のあり様を深く考える機会として捉えることも必要と学び合うことが出来た。	長谷川俊雄（白梅学園大学教授） 高島美希（産業カウンセラー） 守矢俊一（聖進学院学院長） 田崎吉則（つくしの会代表） 小林智幸（でこぼこ西東京代表） 中山裕子（西東京不登校を考える親の会IPPO）
7	保谷駅前	環境講座 土づくりと植物の不思議 種子にびっくりダネ！	10月28日から 11月18日 木曜日 14時から16時 全4回	延べ101人	保谷駅前公民館の北側に位置する「下保谷四丁目特別緑地保全地区（旧高橋家屋敷林）」にて実際に植物・樹木・土に触れながら観察や体験を取り入れた。さらに、その場の体験にとどまらず、作った「赤玉土」を持ち帰り自宅でも活用してもらった。	高橋いく（高橋家屋敷林保存会） 《アシスタント》高松久子、菊池洋子（高橋家屋敷林保存会） 松本 聡（一般財団法人日本土壌協会会長、東京大学名誉教授、農学博士） 多田多恵子（植物生態学者、東京農工大学講師、NHKこども科学電話相談回答者）